

泉佐野市スポーツ大使に

バレーボール元日本代表

大山加奈さんが就任!!



泉佐野市では、「誰もがいつでもどこでもスポーツを楽しむ生涯スポーツ社会」の実現をめざし、2020年の東京オリンピック開催決定を契機に、市民のスポーツへの興味や関心を高めることによるスポーツ活動の振興、スポーツの交流を通じたシティプロモーションの推進を図るため、「泉佐野市スポーツ大使」を設置しました。

今回、バレーボールの元日本代表選手でアテネオリンピックにも出場された大山加奈さんに、泉佐野市で初となるスポーツ大使に就任していただきました。1月24日(土)に市民総合体育館において就任式を行い、委嘱状を市長から手渡しました。

「就任式」

まず市内5中学の女子バレー部員たちに、大山さんからバレーボール指導を行っていただきました。そして千代松市長から委嘱状の交付と、本市のイメージキャラクター「イヌナキン」からスポーツ大使の名刺を交付しました。

その後、大山さんによる講演会では、小学生時代や日本代表チームとして活躍されていた頃の映像を交えながら、様々なお話をしていただきました。



「泉佐野市とのつながり」

大山さんは現役の頃から、泉佐野市の近くに練習などで来た際に犬鳴山にある七宝瀧寺によく来られていたそう。 「泉佐野市は第2のふるさと」と語るほど愛着を持っていたといいます。

「今後のスポーツ大使の活動」

5年間、子どもたちのためのバレーボール教室を市内で開くなど、スポーツ振興の立場から泉佐野市のまちづくりを支えていただく予定です。

スポーツの力で泉佐野市を元気にしていただけるよう、大山さんには今後様々な活躍を期待しています。



大山加奈さんプロフィール

1984年6月19日生まれ。東京都出身。小学校2年生からバレーボールを始め、小中高全ての年代で全国制覇を達成。

2003年開催のワールドカップでは栗原 恵選手とともに「メグカナ」と呼ばれ、「19才コンビ」として注目を浴びました。また、同年の第10回Vリーグでは新人賞を獲得、翌2004年にはアテネオリンピックに出場するなど、日本を代表するプレーヤーとして活躍。

2010年6月、現役引退。現在は日本バレーボール協会の国内事業本部委員を務めるなどバレーボールの普及・発展に向けて幅広く活動し、2020年東京五輪やその先を視野に入れたアスリート育成、東日本大震災の復興支援活動にも精力的に取り組まれています。